

1 単元について

対 象 学 年	中学校 第1学年
学習指導要領	聞くこと（ウ） 話すこと（エ）
単 元 名	Unit 7（アメリカの中学校）～ Speaking Plus 4（1日の生活） NEW HORIZON English Course 1 （全9時間）
単 元 目 標	<p>学校生活や日常生活について知るために、積極的に質問したり、質問されたことに対して詳しく答えようとしていたりしている。 （コミュニケーションへの関心・意欲・態度）</p> <p>尋ねられたことに対して、語句や文を付け足して詳しく答えることができる。 （表現の能力）</p> <p>日常生活について、友だちが話したことの大切な部分を聞き取ることができる。また、分からないときには聞き返すことができる。 （理解の能力）</p> <p>時間に関するさまざまな表現を用いた文の構造について知識がある。 また、日本と外国には時差や学校生活等の違いを理解している。 （言語や文化についての知識・理解）</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Unit 7の各パートでは、語句や文の付け足しが本文に見られる。語句や文を付け足すことよさを理解させ、自らも表現していこうとする意識をもたせたい。それを実践する場としてSpeaking Plus 1で自分たちの日常生活をトピックにしてコミュニケーション活動を行う。 ・授業のウォームアップとしての対話活動で、付け足しをすることを意識させる。付け足しのしやすいトピックを意図的に設定する。その際、どのような付け足しができたのかを相互評価や教師の評価を通して確認し、有効に使えた実感をもてるようにする。 ・メモなしによる対話活動を大切にする。 対話活動を行う際、聞いたことのメモをとることが中心になって対話がおろそかにならないように、メモは対話中にはとらないことや対話がしやすいようなワークシートを作成する。 ・時刻などを尋ねる必然性のある活動を設定するために、単元の終末では「クラスメートの家庭での生活の実態調査をする」ことを目的としたインタビュー活動を行う。その際、即興的に答えることができるよう予想される質問に対してどのように答えるのかを考える場をもつ。 ・質問に的確に答えるための基礎・基本として、大切な語を強調して話すことを大切にさせる。本単元では特に「数」を強調することが多いため、2けたの数が即座に言えるように繰り返し指導する。
参 考 資 料	<p>資料1： 本単元の単元構造図</p> <p>資料2： 生徒のワークシート例</p>

2 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動に積極的に取り組んでいる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な英語の情報を正しく聞き取ることができる。 ・初歩的な英語を場面や状況に応じて適切に聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。
話すこと の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な英語を用いて、自分の考えや気持ちなどを正しく話すことができる。 ・初歩的な英語を用いて、場面や相手に応じて適切に話すことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な英語の学習において取り扱われた文化について理解している。
単元 の評価規準	<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に関する言語活動で、間違うことを恐れず自分のことを話している。 <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話活動で相手に分かりやすいよう工夫している。 ・理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。 	<p>(正確な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や日常生活について話そうとすることを相手に正確に伝えることができる。 <p>(適切な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や日常生活などについて、尋ねられたことに対して語句や文を付け足して、適切に応じることができる。 	<p>(正確な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活をもとにした対話活動で、聞いた内容について正しく内容を聞き取ることができる。 <p>(適切な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然な口調で話されたり読まれたりする英語の内容を大切に部分を手がかりに聞き取ることができる。 	<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・What, Who, Howを用いた疑問文の構造や使い方を理解している。 ・文を付け足すためのつなぎ言葉の使い方を知っている。 ・尋ねられたことに対して、語句や文を付け足すことで、より自然な対話になることを理解している。 <p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界には時差があり、テレビ中継などで時刻を尋ねる場合があることを理解している。

単位時間における評価規準	与えられたトピックについて、誰でも対話しようとしている。	What time ...? Who ...? How long ...?等の質問やその応答文について、正しい強勢、イントネーションなどを用いて話すことができる。	What time ...? Who ...? How long ...?等を用いた文の意味を正しく聞き取ることができる。	What time ...? Who ...? How long ...?等の文の意味と用法を理解している
	自分の学校生活や家庭生活について間違いを恐れずに自ら進んで話している。	時刻などに関する表現を正しく使って、学校生活や家庭での生活について話すことができる。	外国や学校生活、家庭での生活について相手が伝えたい内容の大切な部分を聞き取ることができる。	日本と外国の違い(時間、学校生活など)があることを理解している。
	対話活動で聞き手に伝わるように、話し方やジェスチャー等の工夫をして話している。	尋ねられたことに対して、語句や文を付け足しながら適切に答えることができる。	わからなかったことは聞き返したり、推測したりして、相手が伝えようとしていることを理解することができる。	起きてから寝るまでの一日の生活を表す英語表現を理解している。
	わからない語や表現があったとき、聞き返したり、推測したりして理解しようとしている。			文を付け足すためのつなぎ言 (and, but, so 等)の使い方を理解している。

3 指導と評価の計画 (全9時間)

時	ねらい	学習活動	評価規準				評価方法	指導・援助
			ア	イ	ウ	エ		
1	時刻や天候の質問文や応答の形態・意味・用法を理解し、表現することができる。	<p>帯活動(スランブル対話)</p> <p>【導入】 ビデオを視聴して本時の学習内容のイメージをもつ。学習課題を理解する。</p> <p>時刻や天気を尋ねたり、答えたりするにはどんな表現が大切なのだろう。</p> <p>【展開】 時刻・天候の表現を理解する。単元の課題を理解する。</p> <p>尋ねられたことに語句や文を付け足して詳しく答えよう。</p> <p>本文の音読をし、基本的なイントネーションや区切り、強勢について理解する。</p> <p>【終末】 教科書 Listen で世界の時</p>					<p>・活動の観察</p> <p>・活動の観察</p>	<p>・わからない表現があっても推測しながら聞き取ろうとしている姿を認めるとともに、視覚的資料を示し、心理的負担を減らす。</p> <p>対話に出てく</p>

		刻・天候を聞き取り、それらについて問答する。			・プリント点検 (都市、時刻、天候の整合性がある)	る都市名の発音や場所のイメージをもたせてから聞かせ、質問やその応答文の意味と正しい強勢について意識させる。
2	人物について誰であるのかやどんな人物であるのかを尋ねたり、答えたりすることができる。	<p>帯活動（スラング対話）</p> <p>【導入】 ビデオを視聴して who を使ってどんなことを尋ねているのかを知る。 学習課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>"Who"を使うとどんなことを知ることができるのだろうか。</p> </div> <p>【展開】 Who ~?は、名前と名前以外にも答える場合があることを、問答の練習を通して理解する。 本文の音読をする。 Who ~?の問答をする。</p> <p>【終末】 自己評価</p>			<p>・活動の観察</p> <p>・活動の観察 補助簿の活用</p>	<p>・わからない語句や表現があっても、ポイントを積極的に聞き取るうとする姿勢を認める。</p> <p>・ビデオを参考に、付け足しの文を理解させる。 (Who...?に対して、「名前」+「職業」等)</p>
3 ・ 4	アメリカの中学校の学校生活について知る。また、それをもとに自分たちの学校生活を英語で表現することができる。	<p>帯活動（スラング対話）</p> <p>【導入】 本文を読んで、4つの Question がどんなことを尋ねているのか、どのように答えているのかを理解する。 学習課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分や自分たちの学校の立場で教科書の質問に答えてみよう。</p> </div> <p>【展開】 本文の質問に対する答えを読み取る。 教科書のフレームをもとに、自分たちの学校についての答えになる文を書く。</p> <p>【終末】 付け足した内容を交流して、適切な答えにする。</p>			<p>・活動の観察</p> <p>・活動の観察 プリント点検 活動の観察 プリント点検</p>	<p>・間違いを恐れずに誰とでも対話しようとする姿を認める。</p> <p>・教師の経験により具体的に説明する。 ・本文を例として、so, and ,but 等つなぎ言葉の使い方や、それぞれの答えのどの部分</p>

						が付け足しなのか確認し、付け足しがなかったら対話が不自然なものになることに気付かせる。
5	自分の一日の生活パターンについて話したり、友達に尋ねたりすることができる。	<p>帯活動（スラング対話）</p> <p>【導入】 ビデオを視聴して、本時は「いつ...をする」という表現を学ぶイメージをもつ。 学習課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の1日の生活を「起きてから寝るまで」の順に表現しよう。</p> </div> <p>【展開】 教科書本文の内容を読み取る。また、基本となる表現を理解する。 自分の1日の生活をフレームをもとに書く。 ...する時刻を尋ねる表現を理解する。</p> <p>【終末】 ペアで起きてから寝るまでの行動について尋ねたり答えたりする。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・活動の観察 ・プリント点検 ・活動の観察 ・プリント点検 (1日の生活がつなぎ言葉を使って表現できている) 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れずに誰とでも対話しようとする姿を認める。 ・ get up 等まとまりのある表現ごとのカードを活用し習熟を図る。 ・ 頻度を表す副詞 usually, often 等を効果的に活用するよう助言する。
6	一日の生活について、尋ねられたことに的確に答えることができる。	<p>帯活動（スラング対話） 学習課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1日の生活について、先生と対話し、尋ねられたことに的確に答えよう。</p> </div> <p>教師 生徒 1人1人でコミュニケーションテストを行う。 コミュニケーションテスト以外の生徒は、次時の調査活動に向けて質問文を作成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>仲間のことをもっと知るためにどんな質問をしたらよいか、英文を作ろう。</p> </div>			<ul style="list-style-type: none"> ・活動の観察 ・面接法 (質問に適切に応じることができる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れずに誰とでも内容を付け足しながら対話しようとする姿を認める。 ・ 付け足しができていない場合は、補助の質問をして内容を深める。

		既習の内容を活用して質問文を作る。 Do you ...? What time ...? How long ...? 等を使う。				・プリント点検	・英文の誤りはプリントに修正して返却する。
7 本時	自分のクラスの生活実態調査をするインタビュー活動で、尋ねられたことに対して文を付け足して詳しく答えることができる。	<p>帯活動（スラング対話）</p> <p>【導入】 学習課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>クラスの仲間の生活実態調査をしよう。</p> </div> <p>【展開】 前時に考えた質問をもとにしてインタビューをしたりインタビューに答えたりする。 (語句や文を付け足して、答える)</p> <p>【終末】 インタビューしたことを集約して発表する。</p>				<p>・活動の観察（質問に的確に答えられている。付け足しができてい</p>	<p>・付け足しができていない場合は、補助の質問をして内容を深める。</p> <p>・単なるインタビュー活動で終わらず、付け足しによりコミュニケーションが深まったことを明確にすることで、目指す姿を意識させる。</p>
8 ・ 9	学校のホームページを作成することを仮定して、自分たちの学校のことを書く。その際情報を整理して書くことができる。	<p>【導入】 「朝日中学校」をもとにして、ホームページに載せる情報を理解する。 学習課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>『わが校のホームページ』を作ろう。</p> </div> <p>【展開】 本文をもとにして、ホームページの一つ目を書く。グループごとに担当を決め、学校紹介文を作成する。 ビデオレターとして録画する。</p> <p>【終末】 作成した文を交流する。</p>				<p>・活動の観察</p> <p>・ビデオ撮影</p>	<p>・これまでの対話活動等で使ってきた生活に関する英語表現をプリントを振り返りながら確認し、確実に英文を完成させる。</p>

4 単位時間の授業展開例

(1) ねらい

自分のクラスの生活実態調査をするインタビュー活動で、尋ねられたことに対して文を付け足して詳しく答えることができる。

(2) 本時の位置 7 / 9

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助						
導入	<p>帯活動 スクランブル対話 ・仲間と与えられたトピックについて対話する。</p> <p>本時の学習課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>クラスメートの家での生活を調査しよう。 ~ Let's have an interview about our daily lives ~</p> </div> <p>対話のモデル</p> <p>A: Excuse me. What time do you go to bed? B: Well... I usually go to bed about 12:00. But I often go to bed before 10:00. A: Oh, really. (I see.) Thank you. B: You're welcome.</p> <p>質問例</p> <p>・ How long do you study [watch TV]? ・ How long does it take to school? ・ Do you study English at home? ・ What time do you go to bed? etc.</p> <p>モデルを見て、対話の概要をつかむ。 インタビューの準備をする。 ・グループ内で練習する。 (リーダーが中心となり、発音や声の大きさ等をポイントとして練習する。)</p>	<p>イ - ・付け足しができていることとともに face to face や声の大きさ等のコミュニケーションする際に大切なことながらについて活動の観察を通して認め、励ます。</p>	<p>・机間指導中に付け足しができていない生徒と対話をして、補助の質問をして内容を付け足しを引き出す。</p> <p>・ALT と JTE で例を示し、対話のイメージがもてるようにすることで、自然な付け足しを意識させる。</p>						
展開	<p>インタビューをする。 ・インタビューをするグループ(A)と答えるグループ(B)に分かれ、情報収集活動をする。 ・(A)と(B)が入れ替わる。 情報を整理してまとめる。 (表の記入例)</p> <table border="1" style="margin: 10px 0;"> <tr> <td style="text-align: center;">10:00</td> <td style="text-align: center;">11:00</td> <td style="text-align: center;">12:00</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3人</td> <td style="text-align: center;">5人</td> <td style="text-align: center;">7人</td> </tr> </table> <p>(発表例) " Our question is ' What time do you go to bed? ' From the interview, about 15% students go to bed before 10:00. And 25% sutudets go to bed after 12:00. ... goes to bed at about 1:00."</p>	10:00	11:00	12:00	3人	5人	7人	<p>ア - イ - ウ - エ - ・活動の観察 ・質問の意味を理解し、即興的かつ適切に応じ、その際に文を付け足して詳しく話している姿を認める。 ・活動の観察 (JTE, ALT は、どの生徒を観察、指導・援助するのかについて事前に打ち合わせしておく) ・授業後のプリント点検 (内容的なものの評価の補助資料とする)</p>	<p>・グループリーダーには、全ての班員が確実に聞き手に分かるような質問ができるように、音声面の練習を徹底するよう事前指導する。</p> <p>・対話の即興性やおおよその内容伝達の重要さを理解させ、つまりながらも質問に的確に答え、付け足しをしようとしている姿勢を大切にす。</p> <p>・応答文、付け足しの部分が相互に理解されているのかを確かめ、理解、内容、表現のつまずきの段階に応じて援助する。</p> <p>・有効な付け足しができた例をピックアップし、目指す表現として価値付ける。</p>
10:00	11:00	12:00							
3人	5人	7人							
終末	<p>本時と本単元における学習を振り返る。(自己評価)</p>		<p>・本単元を通しての課題とする「語句や文を付け足して詳しく話す」ことを振り返り、自分の伸びを自己評価させるとともに教師からの評価を行う。</p>						

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

イ -
尋ねられたことに対して語句や文を付け足して適切に応じることができる。

(2) 評価の実際

評価の方法

活動の観察

評価の場...インタビュー活動での生徒の応答

評価者...JTE、ALT

評価項目

(補助簿)	評価項目(評価規準)	月日	評価	生徒氏名
聞く・話す	・わからない語や表現があっても、推測したり聞き返したりして、理解することができる。 ・尋ねられたことに対して適切に応答することができる。 ・付け足しをして詳しく話すことができる。			

授業前にJTEとALTはどの生徒を観察・評価・指導するのかを打ち合わせて具体的にし、効率的に生徒に指導できるようにする。(補助簿の活用)

評価の決定

観察の結果として「㊦質問を正しく理解し、㊦適切に答える。㊦その際に付け足しができる」ことができたら (B以上)と判断する。内容の確認が必要な場合は授業で使用した生徒のワークシートを参考にする。

(3) 個に応じた指導の実際

B以上と判断されない生徒の要因を次の[ア]~[ウ]と考え、以下のように、個の学習状況に応じた指導・援助を行う。

[ア] 質問の意味が理解できない。【理解面】

[イ] 答えようとするはあるが、どう表現するのか分からない。【表現面】

[ウ] 尋ねられていることはわかるが、答えるべき内容が思いつかない。【内容面】

繰り返し習熟を図る手立て

[ア]の生徒には、What...? How...?等の疑問文と答えのパターン練習を行う。

[イ]の生徒には、英文構成の基本(主語+動詞)を徹底することと、既習の語句(特に動詞や数)付け足す際に有効な表現をプリントにより復習させる。

表現内容をもつことができるようにする手立て

[ウ]の生徒に、自分に関することをはっきり答えることがコミュニケーションでは大切であることを意識させるようにする。そのために自分の生活について、はっきりしていなくても、およそ~であるというないようであればよいことをアドバイスし、自分のことなのに「分からない」という意識をなくさせる。付け足しの内容についても、毎時間の帯活動を想起させるとともに、学習プリントで復習させる。

単元を通した継続的な手立て

毎時間の最初数分間に帯活動として、付け足しのしやすいトピックによる対話活動を位置付け、継続的に見届けることで、目指す姿の意識化と技能の向上を図る。

以上の手立てにより、何を尋ねられているかを分かろうとする意欲、文を付け足そうとする態度はどの生徒にも見られるようになった。また、文を付け足すことまでには到達はしていないが、質問には何らかの形では応じることができるようになってきた。

6 参考資料

資料1

本単元の単元構造図

Unit 7～Speaking Plus 3

単元構造図

題材:「とき」を中心にして日常生活について表現する

関連: Unit 3 Part 3 [インタビューしよう]
Do you come by car? No, I don't.
I walk.

第5～7時

◆Speaking Plus 3「1日の生活」[話す]

I get up at 6:30. I sometimes get up after 7:00
I study after dinner. And I usually study for two hours.
I go to bed at 11:00. But I am not sleepy.

第3・4時

◆Part 3・4「アメリカのある中学校」[書く]

How many classes do you have each day?
We have six each day from Monday to Friday.
Do you study any foreign language?
Every student studies one foreign language.
I study Spanish.

第2時

◆Part 2「ホームページを見て」[読む]

Who's that boy?
He's Ben. He's my old friend.

◆Writing Plus2

「学校のホームページ」
Welcome to HOZUMI
J.H.S. Our school ...
穂積中学校紹介

第8～9時

第1時

◆Part 1「世界の時刻」[聞く]

What time is it in Sydney now?
It's one in the afternoon.

下線部は「付け足す語句や文」の本文における例

単元を貫く課題

尋ねられたことに対して詳しく答える。

資料 2

(例) 生徒ワークシート

Our interview QUESTION

How long does it take to school?		
Name	Answer	付け足し (プラス)
	20 minutes	I walk to school.
	10 ~ 15 minutes	I go to school by bike.

Our interview QUESTION

How long do you study?		
Name	Answer	付け足し (プラス)
	1 hour and 30 minutes	But I sometimes study for 3 hours.
	About 1 hour	I study every day.
	2 hours	I like math.
	1 hour	But sometimes I don't study.

Our interview QUESTION

What do you do before dinner?		
Name	Answer	付け足し (プラス)
	study	But I sometimes watch TV.
	study	I study in my room.
	play game	I have 'Game Boy Advance.'